

第25回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成 25 年 1 月

応募者名：札幌市建設局土木部

事業の名称：札幌駅前通地下歩行空間整備事業

実施都市名：札幌市

事業目的

本事業は、二極化した札幌駅周辺地区と大通駅周辺地区を結ぶ地下歩行空間を新たに整備するもので、都心における商業圏の回遊性を高め商業活動の活性化を目指すとともに、四季を通じて安全で、快適な歩行空間を確保し、さらに沿道ビルとの地下接続や歩行空間の両側に設置した「広場」において多様な活用を行うことにより、訪れる人々が憩い楽しめる空間を創出し、都心全体の魅力と活力の向上を目的とする。

事業概要

事業名称:札幌駅前通地下歩行空間整備事業

路線名:8・4・35 札幌駅前通公共地下歩道

事業箇所:地下鉄南北線さっぽろ駅～大通駅

事業延長:520m 札幌市施工区間360m

北海道開発局施工区間160m

幅員:幅員:20m 歩行空間12m

憩いの空間〈条例広場〉8m

事業費:約252億円 札幌市施工区間約172億円

北海道開発局施工区間約80億円

事業実施期間:平成17年度～平成23年度

本事業は、地下鉄南北線さっぽろ駅から大通駅の間に延長520mの地下歩道を整備したものである。

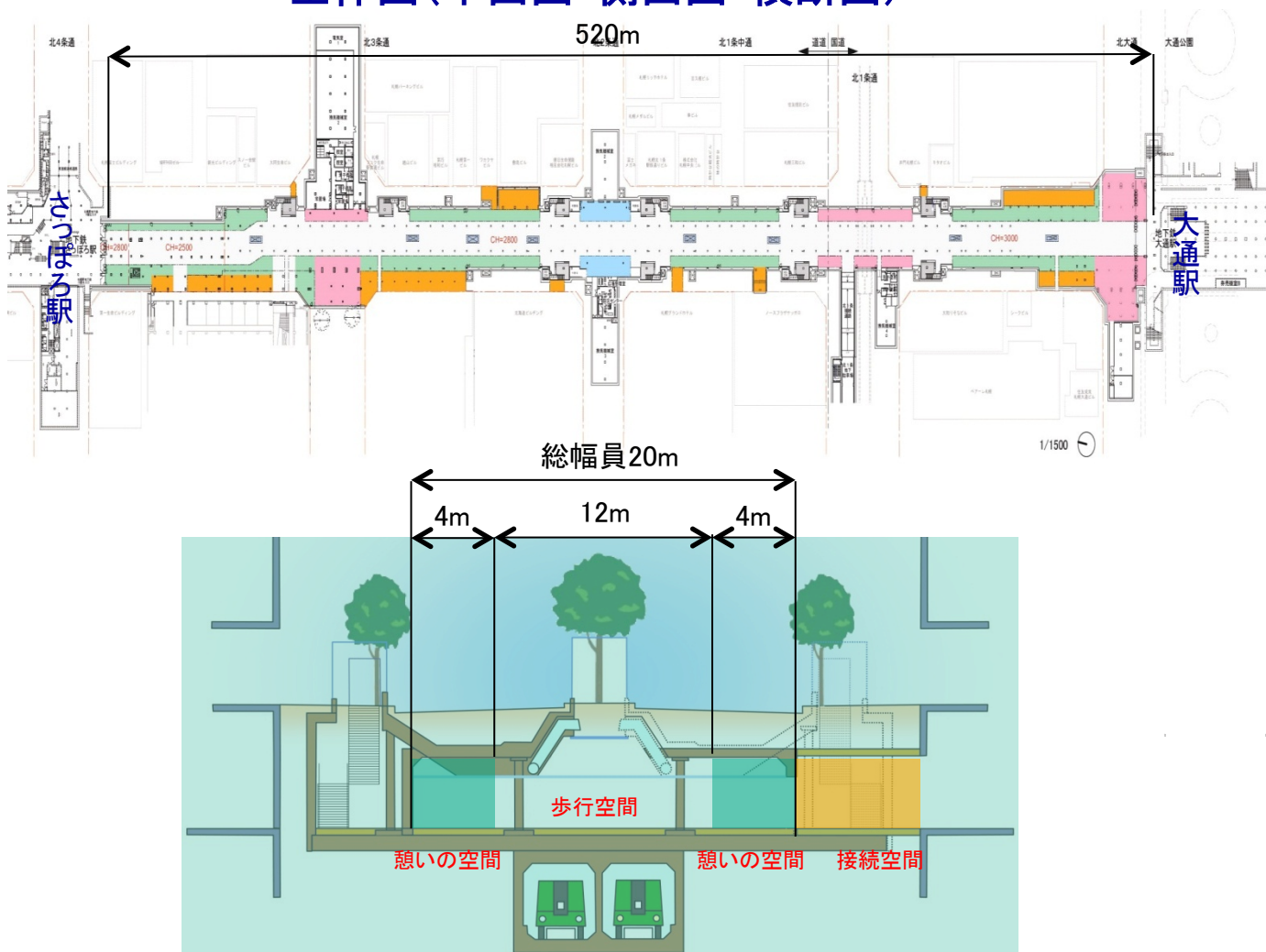
地下歩道を設けることにより、都心の回遊性向上、誰もが安心して移動できる空間の創出を図った。

また、多様なイベントが開催可能な条例広場の設置や、沿道ビルとの接続により、にぎわいを創出した。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



札幌駅前通地下歩行空間の整備効果アピール資料

○事業概要

事業名:札幌駅前通地下歩行空間整備事業

路線名:8・4・35 札幌駅前通公共地下歩道

事業箇所:地下鉄南北線さっぽろ駅～大通駅

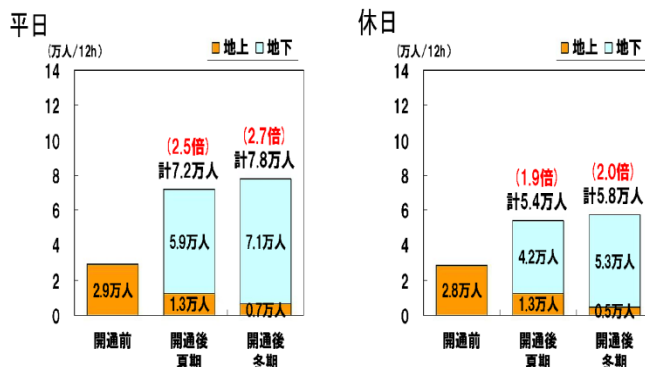
事業延長:520m(札幌市施工区間360m、北海道開発局施工区間160m)

幅員:幅員:20m(歩行空間12m、憩いの空間(条例広場)8m)

総事業費:約252億円(札幌市施工区間約172億円、北海道開発局施工区間約80億円)

事業期間:平成17年度～平成23年度

○交通量調査結果〔札幌駅前通(地上部・地下部)〕

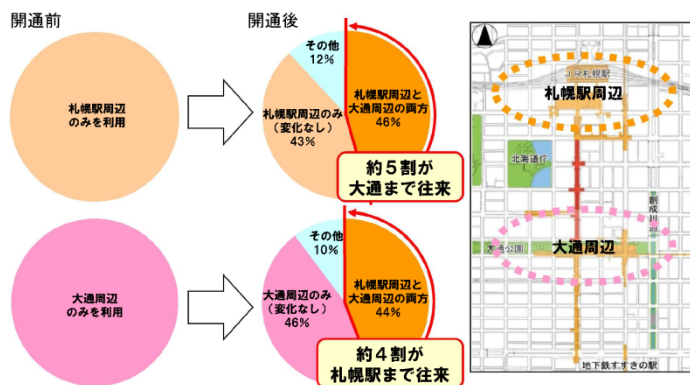


開通前より平日で2.6倍、休日で2倍増加
都心部における人の流れを生み出した



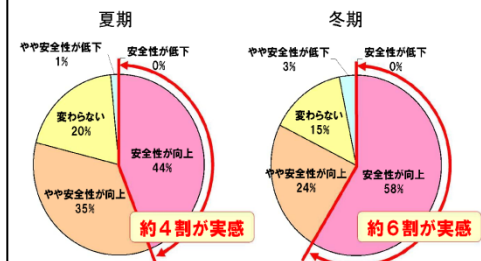
○事業効果

【都心の回遊性向上】



開通前に札幌駅周辺や大通周辺のみを利用されていた方の
4割以上が札幌駅と大通の間を往来するようになった

【安全性の向上】



夏季は4割、冬季は6割の方が、
安全性の向上を実感

[利用者の声]

つるつる路面を回避できる

自転車交通がない

【にぎわいの創出】 憩いの空間 利用件数 約4900件 稼働率 約7割 (平成23年度)

市民活動・物産展・イベントなど多彩な祭事に利用されている



供 用 開 始 前 写 真

平成23年3月撮影



平成23年3月撮影



平成23年3月撮影



平成23年3月撮影



平成23年3月撮影

供 用 開 始 後 写 真

平成23年3月撮影



平成23年3月撮影



平成23年3月撮影



平成23年11月撮影



平成24年4月撮影